



33 よしや質店
【松森町 29 明治期建築】

幅4尺のこみせ、店先と2階の格子、暖簾が一体となって、歴史ある街道沿いの趣を醸し出している建物です。



34 黒沼質店
【松森町 34 大正7年建築】

こみせや2階前面の格子が特徴的な、街道沿いの商家の雰囲気や今に伝える建物です。(現在は営業していません。)



35 千葉家住宅
【椿町 1-5 昭和3年建築】

切妻屋根、正面にはこみせが設けられているなど、町屋の形式が残る建物。近年まで「こうじ屋」と呼ばれ、漬物用の麴などを販売していました。



36 有限会社(農)高木静一商店
【松森町 158 昭和4年建築】

金文字看板が老舗の風格と趣を添えている肥料・農産物。漆喰の天井や観音開きの窓など、昭和のまま時の流れが止まったようなたたずまいを見せている建物です。



37 弘前銘醸煉瓦倉庫
【富田3丁目 7-1 大正7年建築】

酒蔵として建築された赤煉瓦倉庫で、当初あった8棟のうち4棟は今なお倉庫として使用されています。春には、隣接する弘前大学の桜並木と美しいコントラストを見せてくれます。



38 旧制弘前高等学校外国人教師館
【文京町 1 大正14年建築】

登録有形文化財。煉瓦積み基礎、窓、外壁などに洋風建築の意匠が多く取り入れられている建物です。

上

土手町のバス停から出発し、松森町方面へと向かいます。こみせ造りの質屋の前を通り、松森町交差点から弘前大学方面へと向かいます。弘前銘醸煉瓦倉庫と太宰治も訪ねたと言われる旧制弘前高等学校外国人教師館を見た後、弘高下駅から弘南鉄道に乗ります。五重塔など車窓からの風景を楽しんでいるうちに、中央弘前駅へ到着するコースです。

所要時間: 約 54 分



松森町・富田町界隈



改札の向こうに見える ● 最勝院五重塔 (中央弘前駅)

● 太宰治が下宿した「まなびの家」(市指定文化財)



中央弘前駅前からの ● 弘前昇天教会

線路沿いの風景



● 旧弘前借行社 (重要文化財)



● 弘前銘醸煉瓦倉庫と小道

景観重要建造物

景観重要建造物とは

弘前市は「趣のある建物」をはじめとした和風建築や洋風建築、近代建築など歴史の奥深さや新しいものを積極的に取り入れてきた弘前市民の気質を感じさせる建物が、地域の良好な景観を形成しています。

市ではこれらの建物を景観法の規定に基づく景観重要建造物に指定し、適正な管理や改修費の助成等により保全を図り、弘前ならではの良好な景観づくりを目指しております。

※市の助成金の活用と市民団体の募金活動により木村産業研究所のバルコニーが復元されています。

表示板



一景観重要建造物一
指定件数: 15 件
(2020年3月現在)



● 旧第八師団長官舎 (弘前市長公舎)



● 石場旅館



● 旧町田家住宅



● 旧制弘前高等学校外国人教師館



● 三上ビル (旧弘前無尽社屋)



● 旧藤田家別邸
洋館、和館、倉庫 (考古館)、冠木門及び両袖番屋



● 翠明荘 (旧高谷家別邸)
旧洋館、新洋館、日本館、奥座敷、土蔵、門、四阿、塀、中庭廊下 (中庭を含む)

● 木村産業研究所
● 弘前市緑の相談所

● 弘前中央高校講堂
● 弘前市斎場

● 弘前市庁舎
● 開雲堂

● 弘前市民会館

● 弘前市立博物館